

# 技術・家庭科（家庭分野）

家庭分野においては、これからの生活を展望して課題を解決する力を育むことが課題です。そのため、指導事項を踏まえた評価規準を設定すること、生徒が主体的に取り組むことができるよう題材の計画を工夫すること、1人1台端末で実践的・体験的な活動や考えの整理を行うなどICTを効果的に活用することが大切です。

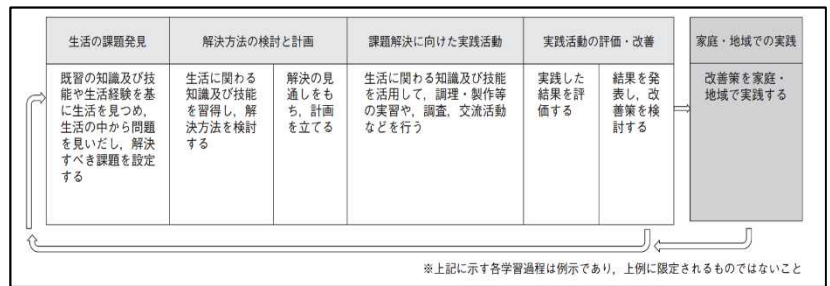
## I 目標の明確化や評価の充実のポイント

育成を目指す資質・能力を明確にするためには、資質・能力を身に付けた生徒の状況を具体的にイメージし、観点別に評価規準を設定することが大切です。

家庭分野では、題材の目標を学習指導要領に示された教科の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定するとともに、家庭分野の授業において評価を行う際には、学習指導要領における各内容の各項目及び指導事項が3学年まとめて示されていることから、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化する必要があります。これらを設定することにより、目標に照らして生徒の学習状況を把握することができます。

## II 指導計画の改善のポイント

題材の計画に当たっては、①既習事項や生活経験を基に家庭や地域の生活を見つめ、問題を見いだす活動、②生活課題について多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する活動、③課題の解決に向けて実践した結果を振り返り、考察したことを発表し合い、他者からの意見を踏まえて改善策を考える活動を位置付けるなどして、生徒が主体的に生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決できるよう工夫することが大切です。



【技術・家庭科（家庭分野）の学習過程の参考例】

## III 手立ての充実のポイント

資質・能力の育成に向けた支援を行う際には、ICTを効果的に活用することが考えられます。解決すべき課題を設定する場面では、生活事象の前後を撮影しておくことで、一人一人の知的好奇心が喚起され、意欲的な取組に繋がります。実践した結果を評価・改善する場面では、撮影した動画により、自己の実習等の様子を可視化し、自己理解や自己評価・改善に生かすことができます。

また、課題解決に向けた実践活動において、家庭や地域での実践計画の記録を残し、実践の様子を撮影することにより、実践の成果を具体的に説明したり、実践の改善に生かしたりすることが考えられます。

### 【参考資料】

・家庭、技術・家庭（家庭分野）の指導におけるICTの活用について（文部科学省）



【スライド資料】



【解説動画】

## 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を解決する力を育む計画の改善

### < 題材名 >

「自立した消費者になるためには」

### < 題材の目標 >

- (1) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。
- (2) 自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

< 題材の評価規準 >

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>

< 題材の指導計画 (5時間) >

学習過程	学習活動	評価規準・評価方法等	
生活の課題発見 課題設定	○自立した消費者としての消費行動について問題を見いだし、課題を設定する。 ・事前アンケートの集計結果をグラフ等で確認し、気付いたことを発表する。 ・人生すごろくを通して、自分や家族の消費生活について <b>問題を見いだし課題を設定する。</b>  <b>自立した消費者となるためには、どのような消費行動をとればよいのだろうか</b>	(思・判・表) ポートフォリオ 日常生活と関連付けて問題を見いだし課題を設定しているか。	<b>【I 目標の明確化、評価の充実】</b> ・題材の目標は、学習指導要領に示された分野の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定している。 ・題材の評価規準は、「内容のまとめりごとの評価規準(例)」から題材において指導する項目及び指導事項に係る部分を抜き出し、評価の観点ごとに整理・統合、具体化するなどして作成している。
解決方法の検討と計画	○消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ・自転車の購入場面を例に、消費者の基本的な権利と責任について考える。 ・過去の事例資料から果たされた責任とその結果について話し合う。 ・消費者の権利が守られず、責任が果たされていない事例についての対処について考える。  ○消費者としての責任ある消費行動を考え、自分たちができることを計画する。 ・「持続可能な社会の構築」などの視点から、社会や環境のために自分ができる消費行動について考え、 <b>計画を立てる。</b> ・友だちや先生、家族からのアドバイスを元に自分の <b>実践計画を見直す。</b>	(知・技) ワークシート・行動観察 消費者の基本的な権利と責任について理解しているか。  (主体的) ポートフォリオ・ワークシート 課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしているか。	<b>【II 指導計画の改善】</b> ・他の内容と関連を図り、実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるようにしている。 ・「課題を設定」するためには、既習事項や自分の生活経験と関連付けて考えられるように「生活を振り返ったり見つめたりする活動」を設定している。
実践活動	○家庭実践：買物実践 ・実際に買わなくても買う物を選ぶ活動をし、レポートにまとめる。	(思・判・表) ワークシート・発言 自立した消費者としての消費行動について考え、工夫しているか。	<b>【III 1人1台端末の活用】</b> ・家庭や地域での実践の様子(場合によっては実践前後)を撮影するなど、端末を利用してレポート作成をすることで、各自の思考の過程を視覚化し、多様な観点からの比較検討がしやすくしている。
実践活動の評価・改善	○自立した消費者としての消費行動について、実践をレポートにまとめ、発表し、 <b>評価</b> したり、 <b>改善</b> したりする。 ・グループでレポートを発表する。 ・実践について評価し合い、改善する。	(思・判・表) レポート 課題の解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現しているか。	<b>【II 指導計画の改善】</b> 学習した知識・技能を実生活で活用できるよう、実践を評価・改善し、新たな課題を見付ける活動を行っている。
新たな課題の設定	○今後の自分や家族の消費生活について <b>新たな課題</b> を見付ける。 ・「持続可能な社会の構築」などの観点から実践したことを振り返る。 ・これまでの学習をもとに、自分や家族の消費生活について新たな課題を見付け、「自立した消費者になるためには」についての自分の考えをまとめ、発表し合う。	(思・判・表) レポート 自立した消費者としての消費行動について、実践を評価したり、改善したりしているか。  (主体的) レポート・ポートフォリオ よりよい消費生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について工夫し創造し、実践しようとしているか。	